

鳥獣による農作物被害をなくすために



攻め



守り



地域体制づくり



県作成 Web サイト
「動画で見る有害獣捕獲マニュアル」



県作成 Web サイト
「愛媛県鳥獣対策&ジビエ料理総合ポータルサイト」

令和 6 年 3 月

愛媛県・愛媛県鳥獣害防止対策推進会議

鳥獣害対策の基本的な考え方

3つの対策の
バランスが大事!



★被害対策は集落ぐるみで行うと効果的!

集落環境
整備

適切な
防除

効果的な
捕獲



まず、みんなで勉強!

しっかりと勉強し理解した上で適切な対策をしましょう。

- ★動物の生態や行動
- ★柵の正しい設置方法
- ★集落内にある放置されたエサの除去



集落内のみんなで勉強会



柵の張り方(柵からはみ出した稲穂)



対策は環境づくりから!
集落内を点検してエサになるものを除去する!

鳥獣害対策を進めるには、集落内の環境を整えることが重要です。集落ぐるみで集落内を点検し、鳥獣の侵入経路や隠れ場所になるところを確認して、鳥獣を寄せ付けない環境づくりをしましょう。

- ★水稲収穫後に生える「ひこばえ」の除去
- ★農地に放置された商品にならない農作物や野菜クズなどの除去
- ★自家消費用の野菜や果実も全て収穫
- ★耕作放棄地や放任果樹園を伐採

★集落環境点検が重要!



集落内の点検活動



放置されたエサ(野菜クズ)



農地周辺の草刈の状況



農地は適切に囲う!

農地を囲っても適切な資材・方法でないと効果が上がりません。

- ★加害鳥獣の特性にあわせた資材の選択
- ★維持管理を考えた設置場所(ルート)の選定
- ★集落で協力し、集落ぐるみで囲うと経済的、効果的



ワイヤーメッシュ柵で囲う



集落の広範囲を電気柵で囲う



箱わなでイノシシを捕獲



捕獲は効果的
に行う!

農作物に被害を与える鳥獣(加害獣)を捕獲しないと被害軽減につながりません。

- ★集落への侵入経路を考慮したわなの設置
- ★集落に侵入する個体を優先的に捕獲(山の10頭よりも里の1頭)
- ★子供(幼獣)よりも母親(メスの成獣)を捕獲



集落環境点検の進め方

獣害に強い集落づくりを進めるには、集落と関係機関（行政、農業団体など）が一体となって集落環境点検を行い、関係者全員が有害鳥獣の出没原因を正しく理解、認識し、地域の課題として整理することで、地域の実情に応じた適切な対策を行うことが重要です。

★集落点検で被害状況を診断★

●点検項目

- ★工 材 《集落内の作物残さなど（野菜クズ、未収穫果実など）》
- ★侵入経路 《加害動物の種類、痕跡（ヌタ場、獣道など）の把握》
- ★隠れ場所 《耕作放棄地、竹林、廃屋などの状況》
- ★対策状況 《侵入防止柵の種類や管理状況（電気柵、トタン柵など）》

●用意するもの

- ★集落地図
- ★筆記用具
- ★カメラ
- ★電圧テスタ
- ★双眼鏡
- ★メジャー など

★集落点検活動にチャレンジ！★

点検前に打合せ



集落点検の実施



◎農地ごとの被害情報や野生獣の移動、侵入経路などについて点検、記録する。

【点検のポイント】

- ・侵入防止柵のつなぎ目、地際を確認
- ・水路の対策処理状況
- ・獣の痕跡（足跡、フンなど）
- ・未収穫果実や廃棄野菜などの放置状況
- ・獣道やヌタ場、ヤブの場所など

情報を地図に整理



対策案の検討



◎集落点検により得られた情報を地図にまとめる。

《地図に書き込む内容例》

- ・侵入防止柵や捕獲檻・わなの設置状況
- ・加害獣の侵入経路や移動経路

◎対策案を検討する。

- ・集落ですぐ取り組むべき課題を整理
- ・センサーカメラの映像を対策に活用
- ・役割分担などについて合意形成を図る

対策の実行



対策の見直し・改善



諦めずに補修・改善・追加対策を！

◎具体的な対策を実行する。

- ・できる対策から取り組む
- ・時間のかかる対策は、関係者と協力

◎侵入された場合は再度、対策を見直し、改善を図る。

- ・定期的な点検は必須、管理道があると効率的
- ・メンテナンスフリーの侵入防止柵はない
- ・侵入防止柵の地際や水路などの開口部は要確認

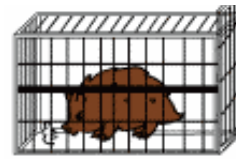
★令和6年度における支援事業の概要★

◆鳥獣被害防止総合対策事業（国補）

【ソフト対策】

《事業内容》

- 鳥獣被害対策実施隊等による地域ぐるみの被害防止活動
 - ・捕獲機材の導入 ・鳥獣の捕獲、追い払い ・緩衝帯の整備
 - ・ICT等を用いた被害軽減に結びつく新技術実証
 - ・スマート捕獲の推進 ・ジビエ利活用の推進、搬入体制構築
 - ・捕獲を含めたサルの複合対策 ・他地域の人材を活用した捕獲
 - ・捕獲サポート体制の構築 ・猟銃所持者の確保に向けた支援 など
- 捕獲活動経費の直接支援
- 都道府県が実施する広域捕獲活動、新技術実証、人材育成活動
- 鳥獣被害防止活動の地域リーダーや対策の中心となるコーディネーター育成のための研修



捕獲機材の購入



実施隊による捕獲

《事業主体（事業実施主体）》市町（市町協議会、民間団体）など

※地域協議会の取組みは侵入防止、個体数調整、生息環境整備の複数対策を実施する地域が対象

《補助率》1/2 以内等

（鳥獣被害対策実施隊、民間団体の活動は定額 [市町当たり 200 万円以内など]）

捕獲活動経費の直接支援は、獣種などに応じて定額

ジビエの処理施設へ搬入した場合：9 千円 / 頭

焼却施設等へ搬入した場合：8 千円 / 頭

搬入しない場合：7 千円 / 頭（イノシシ、シカに限る）



獣肉加工処理施設



侵入防止柵の整備

【ハード対策】

《事業内容》

- 侵入防止柵などの被害防止施設
- 捕獲鳥獣を地域資源として活用するための処理加工施設
- 処理加工施設と一体的に整備される加工品製造設備
- 焼却施設等

《事業主体（事業実施主体）》市町（市町協議会又はその構成員）など

《補助率》1/2 以内（※侵入防止柵の自力施工は資材費相当分の定額補助が可能）

◆鳥獣害防止施設整備事業（県単）

【ハード対策】

《事業内容》

- 侵入防止柵等の被害防止施設
 - 電気柵、金網柵、防鳥網 など
- 鳥獣捕獲対策
 - 捕獲用具（箱わな、囲いわな）
- 周辺環境改善対策
 - 緩衝帯の設置
- 獣肉処理施設備品整備



侵入防止柵の整備



捕獲機材の購入



緩衝帯の整備



電気さくの設置にあたっては、法令等により定められる事項を守ってください。

安全のための設置ポイント ①

電気さく用電源装置を使用すること。



安全のための設置ポイント ②

危険である旨の表示をすること



安全のための設置ポイント ③

漏電遮断器を設置すること



安全のための設置ポイント ④

開閉器(スイッチ)を設置すること



経済産業省 HP「電気さくの正しい設置のお願い（チラシ）（平成 29 年 2 月作成）」
 (https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/08/290200.pdf) から引用しています。



えひめ地域鳥獣管理専門員 ～地域の鳥獣害対策を牽引～

地域の鳥獣害対策を牽引する人材を育成

鳥獣害に関する地域課題の解決に向けて、鳥獣害対策を専門的立場から指導できる人材を育成するため、県では平成 30 年度に、えひめ地域鳥獣管理専門員制度を創設しました。

これまでに、県・市町・JA などの受講生 47 人が認定を受け、県内各地で活動しています。



受講生が認定を受けるまで

○基礎講座

「鳥獣の生態」、「被害特性」、「捕獲」、「防除」、「関係法令」など、基礎的な知識を習得

○実践講座

専門事業者、地元猟友会等と連携し、集落の課題解決に向けた取り組みを実践しながら、専門的な技術などを習得

○審査

修了試験、活動報告会の結果、一定の水準に達したと認められた受講生は「えひめ地域鳥獣管理専門員」に認定



定期報告会

えひめ地域鳥獣管理専門員の認定状況 (人)

年度	県職員	市町職員	JA 職員	その他	計
H30	5	4		1	10
R1	2		5	1	8
R2	2	1	4		7
R3	2	1	3	1	7
R4	3	1	3		7
R5	2	1	3	2	8
計	16	8	18	5	47



実践講座；箱わなの状況確認



愛媛県有害鳥獣ハンター養成塾 ～新たな狩猟者を確保～

捕獲の担い手を育成

有害鳥獣捕獲の新たな担い手を確保するため、狩猟の魅力まるわかり講座を開催し、農作物の被害実態や鳥獣・猟具などに関する基礎知識の習得を図るとともに、要件を満たす受講生に対して免許取得などに係る経費を支援し、銃猟及びわな猟免許の取得を促進します。

講座の内容

1 対象者の条件

第一種銃猟免許もしくはわな猟免許を新たに取得する者で、将来にわたり、県内で有害鳥獣捕獲活動に参加する意志のある者

2 定員

50 名程度

3 内容

○狩猟の魅力まるわかり講座

「鳥獣被害の現状」や「捕獲の基礎知識」、「狩猟の心構え」、「捕獲獣解体処理の見学」など年間 4 回の講座を開催

○銃猟免許取得支援

要件を満たす受講生に対して、免許取得や銃砲所持許可などに係る経費の一部を定額補助

受講生の募集は例年 4 月に行います。興味のある方は県庁農産園芸課鳥獣害対策係または各市町担当課へお問い合わせください。



座学：捕獲の基礎知識



現地：捕獲獣の解体見学



加害鳥獣の生態と被害対策について

～鳥獣の生態や特徴を正しく理解し、被害対策に取り組みましょう～

★イノシシの生態と特徴★

◎生態

- 【生活】 本来は昼間に活発に行動するが、人間を恐れ日没から夜間に行動することも多い。
- 【行動】 行動範囲は数 km 四方で、定着と移動を繰り返す。海を数 km 泳ぐこともある。
- 【食性】 雑食性で人間の食べ物は全て食べる。秋の堅果類（ドングリなど）は大好物。
- 【集団】 オスは単独生活を営むが、メスは子供や姉妹と群れを作る。オスは交尾期に群れに入る。
- 【繁殖】 交尾期は年に 1 回で、12 月～ 2 月頃。出産は 4 月～ 6 月頃。メスは 2 歳で初産を迎え、5 頭前後を出産する。自然界での寿命は、オスで 6 歳、メスで 10 歳程度。

◎特徴

- ★きわめて警戒心が強く、臆病であるが、安全な場所では大胆に行動する。
- ★学習能力は高く、光や音、においなどによる忌避効果は一時的である。
- ★ジャンプ力があり、最大 120cm に達することもある。
- ★嗅覚は犬並みに鋭く、鼻は 70kg 程度のものを持ち上げる。
- ★侵入防止柵などの障害物は、上側を飛び越えるより下側から潜りこむことが多い。



★主な対策★

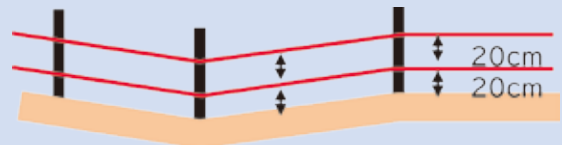
★集落環境の整備【緩衝帯】

- （農地に接する山林や耕作放棄地等の整備）
- ・隠れ場所がなく見通しの良い場所は警戒するため、すみかになりにくい。



★電気柵

- ・確実に鼻に当たるように柵線を設置する。
- ・柵線の高さは、絶えず 20cm、40cm を保持する。
- ・地形の凸凹にあわせて、支柱を追加する。
- ・ガイシ（絶縁体）は外側で、支柱と柵線は接触しない。
- ・草刈等を励行し、漏電を防ぐ。
- ・設置後は 24 時間通電する。



★ワイヤーメッシュ柵

- ・設置ルートを入念に検討してから設置する（柵の効果、設置のしやすさ、設置後の管理等に影響）。
- ・線径は 5mm 以上とし、目合いは 10 cm 以下が望ましい。横筋をほ場側にして設置する。
- ・結束線は腐食に強いステンレス製が良い。固定位置は地際から 10、40、70cm の 3 か所を基本とする。
- ・地際を掘り返されないよう、地形の凸凹に合わせて隙間なく張る。
- ・地際部の補強には、ワイヤーメッシュ柵に角材等を当てて直角に曲げたものを固定すると効果的である。
- ・ワイヤーメッシュ柵の上部を折り曲げ（20～30°）、忍び返しをつけると、飛び込まれにくくなる。
- ・トタン柵を組み合わせてほ場内を見せない工夫や、太い竹や丸太を地際部に設置することも有効である。



★侵入防止柵設置の注意点★

- 侵入は、ほとんどが潜り込み。地際部に隙間を作らないように設置する。
- トタンやワイヤーメッシュ柵の下部は、特にしっかりと固定する。
- 柵は定期的に点検や除草等の管理を行う。
- 柵を突破されても、諦めずに補修及び補強を行う。

足跡



副跡は残らないこともある

★ニホンジカの生態と特徴★

◎生態

- 【生活】 昼夜関係なく行動する。昼は森で、夜になると人里に現れ農作物を食害する。
- 【行動】 行動範囲は50～100haと広く、季節により行動範囲が変動する。
- 【食性】 草食性で、植物はほぼ何でも食べる。
- 【集団】 オスは繁殖期以外は単独またはオスだけの集団で生活し、メスは血縁関係のある集団で生活する。オスは発情期に「フィーヨー」という大きな泣き声を発し、強いオスは多くのメスを囲い込んでハーレムを形成する。
- 【繁殖】 交尾期は年に1回で、10月～11月頃。出産は5月～6月頃。栄養状態がよければ、満1歳の秋から交尾を行い、約7割が妊娠する。通常は1頭を出産する。自然界での寿命は、オスで10歳、メスで12歳程度。

◎特徴

- ★抜群のジャンプ力で、高さが1.8mの柵を飛び越えることもある。
- ★侵入防止柵などの障害物は、上側を飛び越えるより下側から潜りこむことが多い。
- ★蹄はあまり丈夫でなく、足場の悪いところを嫌う。
- ★視覚、聴覚は人間と大差が無いが、嗅覚が発達している。



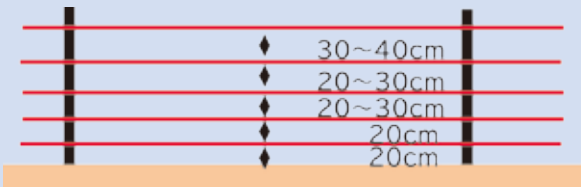
★主な対策★

★集落環境の整備 [緑草を減らし、餌場にしない]

- ・農地管理や作業体系を見直し雑草量を減らす。
- ・9月以降の草刈は最低限にする。
- ・不要な残さ(ひこばえ、野菜クズ)などを放置しない。
- ・雑草も含めて、柵で囲い込む。

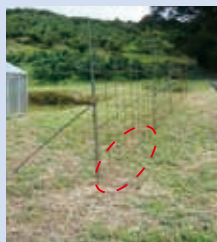
★電気柵

- ・シカの場合は、柵線を5段に張る(下図参照)。
- ・地形の凸凹にあわせて、支柱を追加する。
- ・跳び越えも想定し、支柱は2m程度のものを用いる。
- ・草刈などを適切に行い、漏電を防止する。



★ワイヤーメッシュ柵

- ・高さ2mのワイヤーメッシュを用いて施工する。
- ・潜りこみ防止のため、下部30cm程度を折り曲げて施工することも効果的である。
- ・下部の固定には鉄筋のペグを用いて斜めに打ち込む。



★金網フェンス柵

- ・高さは1.8m以上を確保する。
- ・つなぎ目、地際を掘り返されないように、確実に固定する。
- ・地形の凸凹に合わせて隙間なく設置する。
- ・潜り込み対策として、下部30cm程度を折り曲げて施工することも効果的である。



★樹脂ネット柵

- ・柵の高さは1.8m以上を確保する。目合いは10cm以下にする。
- ・ネットは支柱より外側に張る。
- ・地面とネットの接地部分を横ロープや杭等を用いて固定する。
- ・ネットの規格どおり施工する。(50m用は50mで施工)。
- ・かみ切られないよう、丈夫な材質を選ぶ。



★侵入防止柵設置の注意点★

- 柵の下側からの潜りこみ対策を行うとよい。
- 穴や隙間を作らないように施工する。
- 支柱の高さは、飛び込みによる侵入に対応するため、2m以上を確保する。
- 定期的に柵の点検や除草などの管理を行う。
- 柵を突破されても、あきらめずに補修、補強を行う。
- 集落から緑草を減らすため、特に秋以降の草刈は最低限にとどめる。

足跡



★ニホンザルの生態と特徴★

◎生態

- 【生活】 明るい時間帯だけ行動し、夜間には活動しない。早朝と夕方に採食する。
- 【行動】 群れごとに餌を求めて広範囲を周期的に移動する。
- 【食性】 植物性ものを中心に食べる。果実や虫は好物だが、魚や肉は食べない。
- 【集団】 数十～百頭程度の群れによる集団生活を営む。メスとその子供が基本で、メスは生涯群れから離れない。オスは成獣になると生まれ育った群れから離れて、単独またはオスだけの集団で別生活を営む。
- 【繁殖】 交尾期は年に1回で秋から冬。出産期は春から夏。メスは5～7歳で初産を迎え、2～4年に1頭の割合で出産する。寿命は20歳程度。

◎特徴

- ★きわめて高い学習能力がある。人間の危険性を学習させる対策が重要である。
- ★危険なときは高いところに逃げる習性がある。森林から遠くに離れることは少ないが、林縁から100～200mほど離れた農地でも出没することが増えている。
- ★共同作業、洞察、ものまねはできない。
- ★群れで行動するため、被害は甚大となる。
- ★木登りやジャンプはとても得意である（垂直跳び約2m、幅跳び約2m）。



★主な対策★

★★対策の基本★★

【サルが出没しにくい農地や集落にする】

《サルに学習させる》

- ◎集落や農地でエサを食べることは、危険な行動であること。
- ◎人に見つかり、怖い目に遭うこと。

★集落環境の整備

【守りやすい農地、集落へ改変する】

- ◎移動経路になっている高木やヤブ等を刈り払う。
- ◎庭木をせん定し、サルの移動を妨げる。
- ◎ほ場や作物の栽培方法をサル対策用に変える。
 - ・狙われやすい作物の周りに、狙われにくい作物を栽培する。
 - ・かぼちゃ等のツル性果菜類は柵栽培で網をかける など。

【集落内の誘引物を減らす】

農地

- ◎ひこばえ等の収穫残さを減らす。
- ◎収穫しない果樹（カキやクリなど）は伐採する。
- ◎ほ場には出荷しない野菜や果実を廃棄しない。

集落

- ◎生ゴミはコンポストに入れたり、焼却する。
- ◎お墓のお供え物は、持ち帰る。

★追い払い

【サルに「キケン」を覚えさせる】

- ◎サルを見たら、自分の農地でなくても追い払い、可能であれば集落の住民が連携して追い払う。
- ◎動物駆逐用煙火は本気で狙う。使用時は事故や山火事に注意して、煙火を使用する場合は直接手に持たない。やむを得ない場合は、専用の手持ち用ホルダーを使用する。
- ◎電動ガンは本気で当てるつもりで狙う。
- ◎地域での協力体制ができれば、モンキードッグによる追い払いも効果がある。



★侵入防止柵の設置

◎樹脂ネット型電気柵

- ・樹脂ネットに金属線が編みこまれており、プラス線とマイナス線を配置する。

◎複合柵（ワイヤーメッシュ柵等＋電気柵）

- ・イノシシ対策を兼ねる場合や、既に金属製の柵が設置されている場合に有効である。
- ・ワイヤーメッシュ柵等の上部に、柵線を複数本設置する。
- ・新設では費用が高くなる傾向があるため、設置ラインと管理計画を綿密に整理する。

◎猿落（えんらく）君（奈良県開発）、おうみ猿落君（滋賀県開発）

- ・支柱の「しなり」により、サルが登れない仕組みになっている。
- ・ネットと弾性ポールなどを用いることで、安価で容易に設置できる。



★侵入防止柵設置の注意点★

- 飛び込まれないように、柵の設置ラインは、樹木や建物から十分に離す。
- 柵に近づかないよう、定期的に草刈などの管理を行う。
- かみ切られたネットは補修する。
- 一度に何頭ものサルが飛びつくと、ポールが折れることがあるので、その都度交換する。
- 柵のコーナーはしなりが悪いため、網は余裕をもって張る。

足跡



★カラスの生態と特徴★

◎生態

【形態】 ハシブトガラスは全長 56cm、体重 700g 程度。くちばしは太く、上側のくちばしは大きく湾曲している。ハシボソガラスは全長 50cm、体重 500g 程度。くちばしはハシブトガラスより細く、湾曲はない。

【行動】 市街地、農耕地、林、河原、海岸、山地など様々な場所にいる。ハシブトガラスは市街地や林を好み、ハシボソガラスは農耕地など開けた環境を好む。

【食性】 雑食性で残飯や動物の死体など何でも食べる。昆虫や種子も良く食べ、果実、鳥の卵、雛なども食べる。冬には稲の落ちモミを多く食べている。

【集団】 一夫一妻制で直径数百メートルの縄張りを持つ。群れは縄張りを持ってない個体で構成されている。秋から冬には松林などに数百～数千羽でねぐらを作って眠る。

【繁殖】 3月～7月に樹上や高圧線の鉄塔に木の枝などで巣を作り3～5個の卵を産む。抱卵はメスだけが行い、卵は20日前後で孵化し、メスとオスが餌を与えて約35日ほどで巣立つ。巣立ち後も50～100日程度は家族で行動する。

◎特徴

★鳥の中でも非常に賢く、知能が高い鳥である。

★見つけた食物をその場で食べず、後で取り出して食べる貯食行動をする。

★ハシブトガラスはハシボソガラスに比べて動物質の餌を好む傾向がある。



★ヒヨドリの生態と特徴★

◎生態

【形態】 全長 28cm、体重 70～100g 程度。大体ムクドリと同じ大きさだが、尾や頭部の羽毛が長い。全体に濃い灰色で、頬と脇が赤みを帯びている。

【行動】 樹上で過ごすことが多く、波形を描いて飛び、空中でホバリングも可能である。

【食性】 昆虫類や樹木・草の果実、花などの甘いものを好む。ムクドリはショ糖を消化できないため、かんきつ類は食べないが、ヒヨドリは好んで食べる。

【集団】 一夫一妻制で繁殖期には1羽か2羽で行動し、冬季は数羽から100羽以上が群れをつくることが多い。本州以南は留鳥。

【繁殖】 5月中旬～8月に林や公園、庭で繁殖する。樹上に枯れ草やビニールの紐で巣を作り、3～5個の卵を産む。抱卵はメスだけで、14日間で孵化し、両親が雛に餌を与えて10日ほどで巣立つ。同じつがいでも年に2～3回繁殖することがある。

◎特徴

★被害は、年による変動が大きく、1～3月に多く発生する。

★被害地域は、関東以南のかんきつ産地や、全国の露地野菜産地で多い。



★主な対策★

★防鳥ネット

- ・作物を網で被う方法が最も確実で効果は高いが、広範囲の設置は労力・費用面の負担が大きい。
- ・網目の大きさはカラス 75mm、ヒヨドリ 30mm 以下とする。

防鳥ネット



ペットボトルによる先端部処理

★テグス

- ・農地に鳥の飛行を妨害するようにテグスを張る。
- ・大型の鳥（カラス）にはある程度効果があるが、ヒヨドリ等にはあまり効果がない。
- ・カラス対策として、中央農研センターが開発した「くぐれんテグス君」を導入している地域もある。



カラス対策「くぐれんテグス君」



被覆資材で果実を被覆

★果実被覆資材

- ・ポリエステル製の布袋や紙袋で果実を被覆する。
- ・紙袋は緑色が効果的とされている。

★防除対策の注意点★

効果は
一時的！

- 吹き流し ●CD ●マネキン ●かかし ●鳥の死体
 - 目玉模様 ●ディストレスコール ●爆音機
- 〔効果が長続きしないので、使用する期間を区切って使用〕

県有施設等での被害防止実証展示

愛媛県では、鳥獣害防止施設の設置技術等について広く農業者等に普及啓発を図ることを目的に、県有施設や管内現地で鳥獣害防止施設の実証展示を行なっています。

①農林水産研究所	TEL(089)993-2020	⑧しまなみ農業指導班	TEL(0897)72-2325
②果樹研究センター	TEL(089)977-2100	⑨岩城駐在	TEL(0897)75-2014
③みかん研究所	TEL(0895)52-1004	⑩久万高原農業指導班	TEL(0892)21-0314
④林業研究センター	TEL(0892)21-2266	⑪八幡浜支局地域農業育成室	TEL(0894)23-0163
⑤四国中央農業指導班	TEL(0896)23-2394	⑫西予農業指導班	TEL(0894)62-0407
⑥東予地方局地域農業育成室	TEL(0898)68-7322	⑬鬼北農業指導班	TEL(0895)45-0037
⑦今治支局地域農業育成室	TEL(0898)23-2570	⑭愛南農業指導班	TEL(0895)72-0149

展示内容

(1) 電気柵

対象獣	イノシシ、ニホンジカ
概要	電気ショックを与え対象獣の侵入を防止する。 草刈などの漏電防止対策が重要である。
展示場所	①農水研、②果樹研、③みかん研、⑨岩城
備考	★イノシシ用には柵線を地面から20cm、40cmに張る。 ★シカ用には5段以上張る(20,40,70,100,130cm) ★地面の起伏が多い場合は、支柱を増やし、柵線を地面から一定の高さにする。



(2) ワイヤメッシュ柵

対象獣	イノシシ、ニホンジカ
概要	物理的に対象獣の動線を遮断し、被害を防止する。 対象獣に効果的な目合いや高さのものを選択する。
展示場所	①農水研、②果樹研、③みかん研、④林研、⑨岩城、⑬鬼北
備考	★柵の上部20cmを折り返すことで、イノシシの飛び込みを抑制できる。 ★ワイヤメッシュの表と裏に注意し、施工する(横筋がほ場の内側)。 ★シカ用は1.8m以上の高さが必要である。



(3) トタン柵

対象獣	イノシシ
概要	物理的に対象獣の動線及び視界を遮断し、被害を防止する。
展示場所	①農水研
備考	★トタンのつなぎ目や地面との間に隙間ができないように設置する。 ★地際の掘り返し対策のため、地面に丸太や竹を置いて補強すると良い。



(4) ネットフェンス

対象獣	イノシシ、ニホンジカ
概要	ネットの脚への絡みつきを対象獣が嫌う習性を利用して、侵入を防止する。
展示場所	②果樹研、③みかん研、④林研、⑨岩城
備考	★樹脂製で破れる場合があるので、常に確認することが重要である。 ★獣の脚に絡むよう、ネット下部を手前に50cm程度出して設置する。



(5) 白落柵《埼玉県開発》

対象獣	ハクビシン、アライグマ
概要	対象獣の何でも登る習性を利用し、ネット上部に電線を設置し、感電させて獣の侵入を防止する。
展示場所	①農水研、⑩久万高原
備考	★ネットを確実に登らせるため、ネット下部を20cm程度地中に埋める。 ★ネットと直管の隙間は作らない。 ★電線は直管の上側5cmの高さに張る。



(6) 電線付きネット+電線付きシート(一体型)

対象獣	イノシシ、ハクビシンなどの小動物
概要	ネットとシートに織り込んだ電線に通電し、電気ショックにより対象獣の侵入を防止する。
展示場所	⑧しまなみ
備考	★傾斜地における設置が容易である。 ★ネットだけでなくシートにも通電することで、侵入防止効果が高くなる。



(7) 猿落くん《奈良県開発》

対象獣	二ホンザル
概要	物理的に対象獣の動線を遮断し被害を防ぐ。
展示場所	⑩久万高原
備考	<ul style="list-style-type: none"> ★弾性ポールやネットなどを用いるため比較的軽量で簡易的に設置できる。 ★弾性ポールに鋼線などを巻きつけて通電させる改良型猿落君の利用や電気柵との組み合わせも可能である。



(8) おじろ用心棒

対象獣	サル、イノシシ、シカ、小動物
概要	物理的に対象獣の動線を遮断するワイヤーメッシュ柵と電気ショックを与える電気柵との組み合わせにより、対象獣の侵入を防止する。
展示場所	⑩久万高原、⑬鬼北
備考	<ul style="list-style-type: none"> ★支柱にも電線を取り付けることで、サルが支柱をつかんでも感電するため、侵入防止効果が高い。



(9) 移動式大型捕獲檻＋遠隔監視装置

対象獣	サル、イノシシ、ニホンジカなど
概要	大型捕獲檻を遠隔監視装置で監視し、最もよいタイミングで箱檻の扉を閉め、対象獣を捕獲する。
展示場所	①農水研、⑤四国中央、⑥東予、⑧しまなみ、⑪八幡浜、⑫西予、⑭愛南
備考	<ul style="list-style-type: none"> ★餌付けにより対象獣を誘引し、群れごと捕獲することができる。 ★群れの出没状況や行動調査などに基づき設置場所を選定する。 ★捕獲までの餌付けに数か月を要する。 ★遠隔監視装置の通信料など、別途費用がかかる。



監視カメラ

ライブ映像の配信

大型捕獲檻

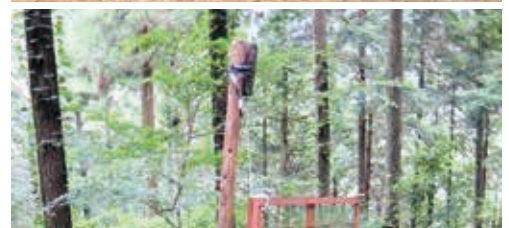
(10) 移動式大型捕獲檻（サル用）

対象獣	二ホンザル
概要	檻内へは、天井部分の開口部から容易に侵入できるが、逃亡はできない構造で、群れごと捕獲する。
展示場所	⑤四国中央、⑥東予、⑦今治
備考	<ul style="list-style-type: none"> ★餌付けによりサルを誘引し、群れごと捕獲することができる。 ★群れの出没状況や行動調査などに基づき設置場所を選定する。 ★捕獲までの餌付けに数か月を要する。



(11) 広域型震センサー

対象獣	イノシシ、ハクビシンなど
概要	震の作動を感じた機器がメールを送信し、管理作業の効率化を図る。
展示場所	⑫西予
備考	<ul style="list-style-type: none"> ★機器によっては無線局の登録が必要となり、申請手数料及び電波利用料の納付が必要となるほか、別途通信料がかかる。



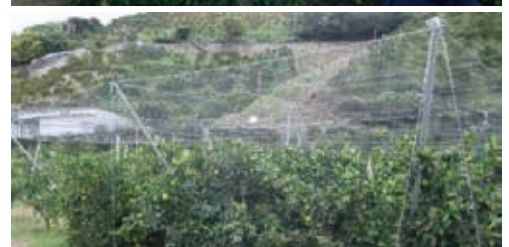
(12) ミシン糸利用による鳥害防止

対象獣	鳥類
概要	ミシン糸を果木に直接張ることにより、鳥類の被害を防止する。
展示場所	⑫西予
備考	<ul style="list-style-type: none"> ★糸張り機は、ペットボトル、塩ビパイプ等で自作できる。 ★糸の間隔は20cm程度を目安に張る。



(13) 黒色防鳥網

対象獣	鳥類
概要	ほ場をネットで被覆し、鳥類による被害を防止する。
展示場所	②果樹研、③みかん研
備考	<ul style="list-style-type: none"> ★糸の太さが従来の青色防鳥網よりも太く、鳥が絡みにくい。 ★重量があるため、従来品より設置に労力を要するが、耐用年数が高い。



(14) くぐれんテグス君

対象獣	カラス
概要	ほ場の周囲を防鳥網で囲ったうえで、弾性ポールを用いてテグスを天井部に張りカラスの侵入を防止する。
展示場所	②果樹研、③みかん研、⑥東予
備考	<ul style="list-style-type: none"> ★虫害の発生が予想される園地では、防虫ネットとの選択を検討する。





狩猟及び有害鳥獣捕獲について

◆野生鳥獣の捕獲は法律により原則禁止

・野生鳥獣の捕獲が認められているのは「狩猟による捕獲（以下、狩猟）」又は「市町長等の許可による捕獲（中でも農業被害においては「有害鳥獣捕獲」）」のいずれかの場合に限りです。

◆農作物を野生鳥獣に荒らされて困ったら、有害鳥獣捕獲

・農作物被害を受けた場合は、市町の鳥獣被害担当窓口にご相談ください。

◆狩猟をするためには狩猟免許と狩猟者登録が必要

・狩猟をするためには免許と狩猟者登録が必要で、有害鳥獣捕獲についても原則免許が必要です。

◆狩猟免許試験は8月、9月、12月頃に実施

・試験は、8月、9月、12月頃に県内5会場で実施、事前に県猟友会が試験対策として初心者予備講習会を開催しています。

◆銃器で捕獲するには、別に銃砲所持許可が必要

・銃砲所持許可に関する問い合わせ窓口は、各地域を管轄する警察署の生活安全課となります。

◆捕獲行為の区分概念図

◎捕獲の時期と場所

区分	時期	場所	
		捕獲禁止の場所	捕獲禁止の場所以外
狩猟	狩猟期間 11/15~2/15	×	○
	イノシシ、シカのみ 11/1~3/15		
有害鳥獣 駆除	許可期間 (別表 許可基準)	○ (許可区域)	

◎有害鳥獣捕獲の許可基準（抜粋）

許可権者	鳥獣名	許可基準					被害農林水産物等	
		方法	区域	時期	日数	一人当たり捕獲羽(頭)数		
市町長	スズメ	銃器・網	被害等区域	随時	60日以内	被害等の防止の目的を達成するために必要な羽(頭、個)数	被害者又は被害者から依頼された者	水稲
	ヒヨドリ	銃器						柑橘・その他果樹等
	カラス	銃器・わな						柑橘・その他果樹等・施設等
	イノシシ	銃器・わな						水稲・芋類・柑橘・その他果樹等
	ニホンザル	銃器・わな						柑橘・その他果樹・野菜等
	ハクビシン	銃器・わな						柑橘・その他果樹・野菜等
	ニホンジカ	銃器・わな						造林木・水稲・豆類等
その他	地域の特性や被害等の状況に応じて効果的な捕獲方法を検討し、個別に対処する。							

※予察捕獲の場合は、上記基準に関わらず、被害発生予察に基づき計画的に捕獲を行なうものとする。

◆農作物の被害対策や事業に関するご相談

問い合わせ機関	管轄市町	電話番号
県庁農産園芸課鳥獣害対策係	(県窓口)	(089) 912-2554
東予地方局農業振興課	新居浜市、西条市、四国中央市	(0898) 68-7322
四国中央農業指導班	(四国中央市)	(0896) 23-2394
今治支局地域農業育成室	今治市、上島町	(0898) 23-2570
しまなみ農業指導班	(今治市、上島町)	(0897) 72-2325
中予地方局農業振興課	松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町	(089) 909-8761
伊予農業指導班	(伊予市、松前町、砥部町)	(089) 982-0477
久万高原農業指導班	(久万高原町)	(0892) 21-0314
南予地方局農業振興課	宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町	(0895) 28-6145
鬼北農業指導班	(松野町、鬼北町)	(0895) 45-0037
愛南農業指導班	(愛南町)	(0895) 72-0149
八幡浜支局地域農業育成室	八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町	(0894) 23-0163
大洲農業指導班	(大洲市、内子町)	(0893) 24-4125
西予農業指導班	(西予市)	(0894) 62-0407

◆狩猟免許・捕獲に関するご相談

問い合わせ機関	管轄市町	電話番号
県庁自然保護課生物多様性係	(県窓口)	(089) 912-2368
東予地方局森林林業課	新居浜市、西条市	(0898) 68-7438
四国中央森林林業振興班	四国中央市	(0896) 23-2393
今治支局森林林業振興班	今治市、上島町	(0898) 25-2193
中予地方局森林林業課	松山市、伊予市、東温市、松前町、砥部町	(089) 909-8767
久万高原森林林業課	久万高原町	(0892) 21-1265
南予地方局森林林業課	宇和島市、松野町、鬼北町	(0895) 28-6141
愛南森林林業振興班	愛南町	(0895) 72-0931
八幡浜支局森林林業課	八幡浜市、西予市、伊方町	(0894) 22-2031
肱川流域林業振興課	大洲市、内子町	(0893) 24-4131

◆愛媛県の鳥獣害対策に係る関連事業、被害状況等については、県農産園芸課のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.ehime.jp/h35500/ninaitetaisaku/chouju.html>

◆狩猟免許については、県自然保護課のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.ehime.jp/h15800/choujyu/syuryo.html>